

景観形成デザインガイドとの整合を示す書類

「適合」「非適合」のいずれかに☑する(項目が該当しない場合は無記入)。非適合の場合等、その理由を摘要欄に記入。

項目	景観形成デザインガイド(デザイン基準)	適合	非適合	摘要
和風の形態・意匠	簡潔な形態とともに、メリハリのある陰影を伴った外観を形成するために、軒、小屋根、庇を外壁から突き出すこと。外壁と開口部を大きく対比的に確保することを心がけましょう。	☐	☐	
屋根 小屋根 庇	単純で簡潔な切り妻か入母屋の屋根形態が推奨されます。素材は、瓦葺きまたは金属板葺きとし、色彩は、黒に近い無彩色、が推奨されます。	☐	☐	
	切り妻屋根の場合、前面1階部分に通りに向かって傾斜のある小屋根を設置することが推奨されます。	☐	☐	
	道路境界に外壁が揃う伝統的な町家の景観では、軒の庇が高さを微妙に違えつつ連続する水平線を形成しています。本地区では独立家屋が多いので、隣り合った家屋同士が、屋根の軒を出すとともに、小屋根や庇を設けて、ほぼ同じ高さで揃えることを心がけましょう。	☐	☐	
	付け屋根は極力避け、本来の屋根形態を表すことが推奨されます	☐	☐	
	庇は和風の基本要素です。雨や雪から外壁や路面を守る働きがあります。窓の上部、玄関や出入り口の上部に必要です。近隣との連続性を考慮して設けましょう。	☐	☐	
	小屋根を用いて和風を演出することができます。庇と揃えるよう通りに向かって傾斜する片流れの小屋根を基本としましょう。	☐	☐	
	屋根、小屋根、庇は、木部表しとすることが推奨されます。	☐	☐	
開口部 格子 障子	通りに面している開口部は、木製、木目調サッシが推奨されます。	☐	☐	
	アルミ製サッシの場合は、窓枠を木製の押さえで隠すなどの演出が推奨されます。	☐	☐	
	開口部は、内部に障子を設置するか、外部に木製格子を付けることが推奨されます。	☐	☐	
外壁	漆喰または漆喰調(白または土色)が推奨されます。下部に下見板張り(黒またはこげ茶色など)の組み合わせがさらに推奨されます。	☐	☐	
	真壁造りを基本とした柱・梁の表しも推奨されます。	☐	☐	
	サイディング材を用いる場合でも漆喰調仕上げタイプを用いましょう。	☐	☐	
	通りに面している壁面は、まとめて開口部を設け、壁と開口部の構成により壁面にメリハリを持たせる(壁と開口がバランスよく対比する。)ことが推奨されます。ただし2階は1階と異なる小さな開口とすることが推奨されます。	☐	☐	
	歴史的な意匠を外壁に取り入れましょう。例えば家紋を外壁の上部などに表すことなどが考えられます。	☐	☐	
緑化	道路と板塀の間に樹木を植栽する場合、和風建物であればウコギ生垣など、米沢で以前から植栽されている樹木が推奨されます。	☐	☐	
	隣接建物の外壁が道路に近い場合、隣接建物の隙間をつなぐよう、建物の壁面と揃えて植栽を設けることが推奨されます。	☐	☐	
	植栽する樹木は、楓、松など松が岬公園内にある樹種や、米沢で以前から植栽されている樹種を尊重しましょう。例えば、楓を象徴的に植樹することで景観は引き締まります。	☐	☐	